

## 日銀神戸 支店長の 視点

鉢村健氏



先日、神戸市からの依頼で  
ご高齢の方約3千人を対象に  
講演をさせていただきまし  
た。市生涯学習支援センター  
の老眼大学には、知識習得と  
生きがいづくりを目指して熱  
意あふれる皆さんがお集まり  
です。長い人生経験をお持ち  
の方を前に最新の経済情勢だ  
けを解説するのは気が引けま  
した。神戸経済もご高齢者の  
人生と同様に、長い風雪に遭  
遇しながら今日を迎えていま  
す。

日本経済を神戸がけん引し  
た輝かしい高度成長期、震災  
で甚大な被害を被った復興  
期、そして現在へと神戸経済  
は質的に大きく変貌していま  
す。この間、市民も「国際化  
と情報通信革命」に翻弄ほんろうされ  
ながら現代を生きています。

### 「心の豊かさ」の追求が大切

昔と比べれば物質的に豊かで  
便利な社会を達成しました  
が、精神的に進歩したでし  
ょうか。

皆さんは郷土の偉人賀川豊  
彦をご存知でしょうか。18  
88年神戸市生まれの社会運  
動家であり日本生活協同組合  
連合会の創設者と聞けば思い  
出す方もおられると思いま  
す。海外での知名度も高く、  
シユバイツァー、ガンジーと  
並ぶ世界の3聖人に称する米  
国の書籍もあります。氏が著  
した「友愛の政治経済学」は  
今日的にも意義の深い洞察が  
たくさんあります。

その中で氏が「豊かな中の  
貧しさ」を指摘したのは金融  
恐慌から第2次世界大戦へ向  
かう時代。当時の経済危機は  
物の不足でなく過剰が市民生  
活をしいたげている矛盾点を  
喝破しました。現代社会は物  
があふれマネーも大量に動く  
時代になりました。大切な  
は「心の豊かさ」を社会全体  
で追求することです。利益追  
求だけでは社会の優勝劣敗に  
拍車を掛け、高齢化社会を不  
幸にするでしょう。